

まとめ報告

チーム名：レジリエンスフォー

災害の激甚化・頻発化により、迅速かつ実効性のある対策が求められており、社会全体での防災・減災の取り組みが急務である。

防災対策に関わる予算が適切かつ効率的に分配されているか検証する必要がある

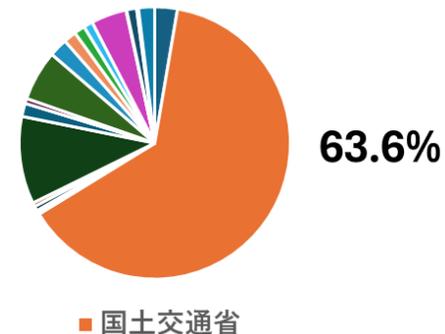
レビューシート見える化サイトより防災予算総額は **53億円**

行政事業レビューシート見える化サイトで「防災」に関する事業は **約250件**で、そのうち**80件**は国土交通省のもの

250 件

80 件

レビューシート防災予算



支出額全体の40%

支出額の行き先が正確にトレース可能なデータ

マクロ分析

日本のどの地域に国土交通省の防災予算が配分され、実際に執行されているのかを把握する

仮説

災害リスクが高いが適切な予算が割り当てられず、防災支出が少ない地域がある。
あるいは、リスクが低いにも関わらず過剰な予算が割り当てられ、防災支出が高い地域がある。

使用データ：2023年度の国土交通省の防災支出情報

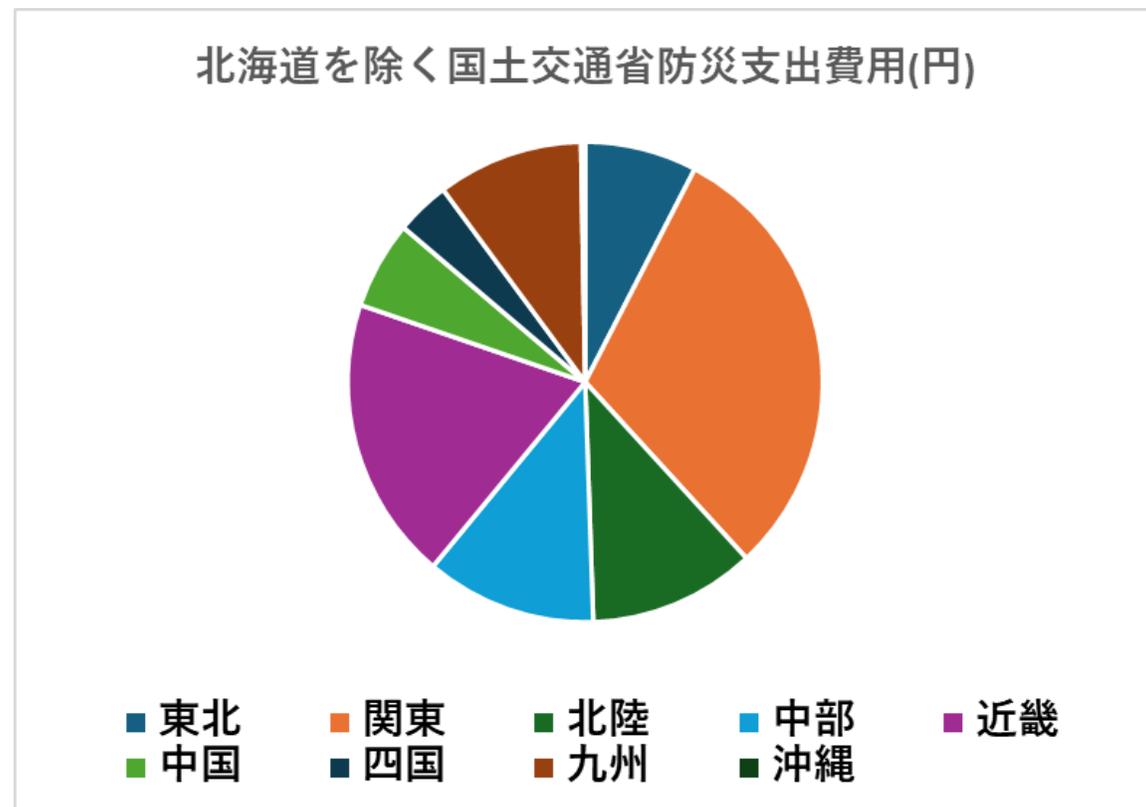
災害リスク

災害リスクエリア内人口(2015年度)を用いて評価

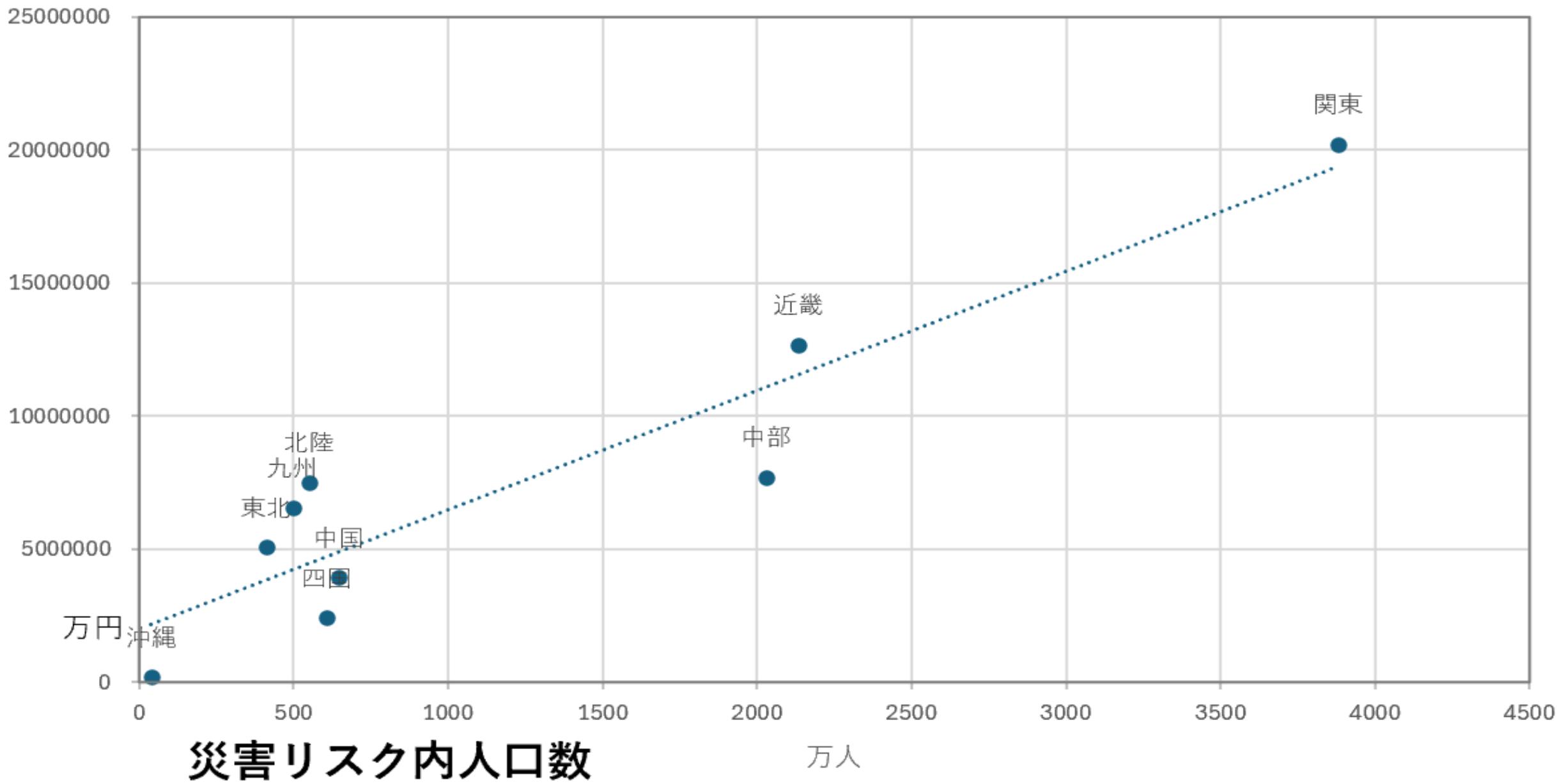
図 1

	災害リスク内人口 (万人)
北海道	210
東北	411
関東	3879
北陸	548.5
中部	2030
近畿	2132.8
中国	645
四国	607
九州	497
沖縄	40

図 2



北海道を除く国土交通省防災支出費用(円)



ミクロ分析

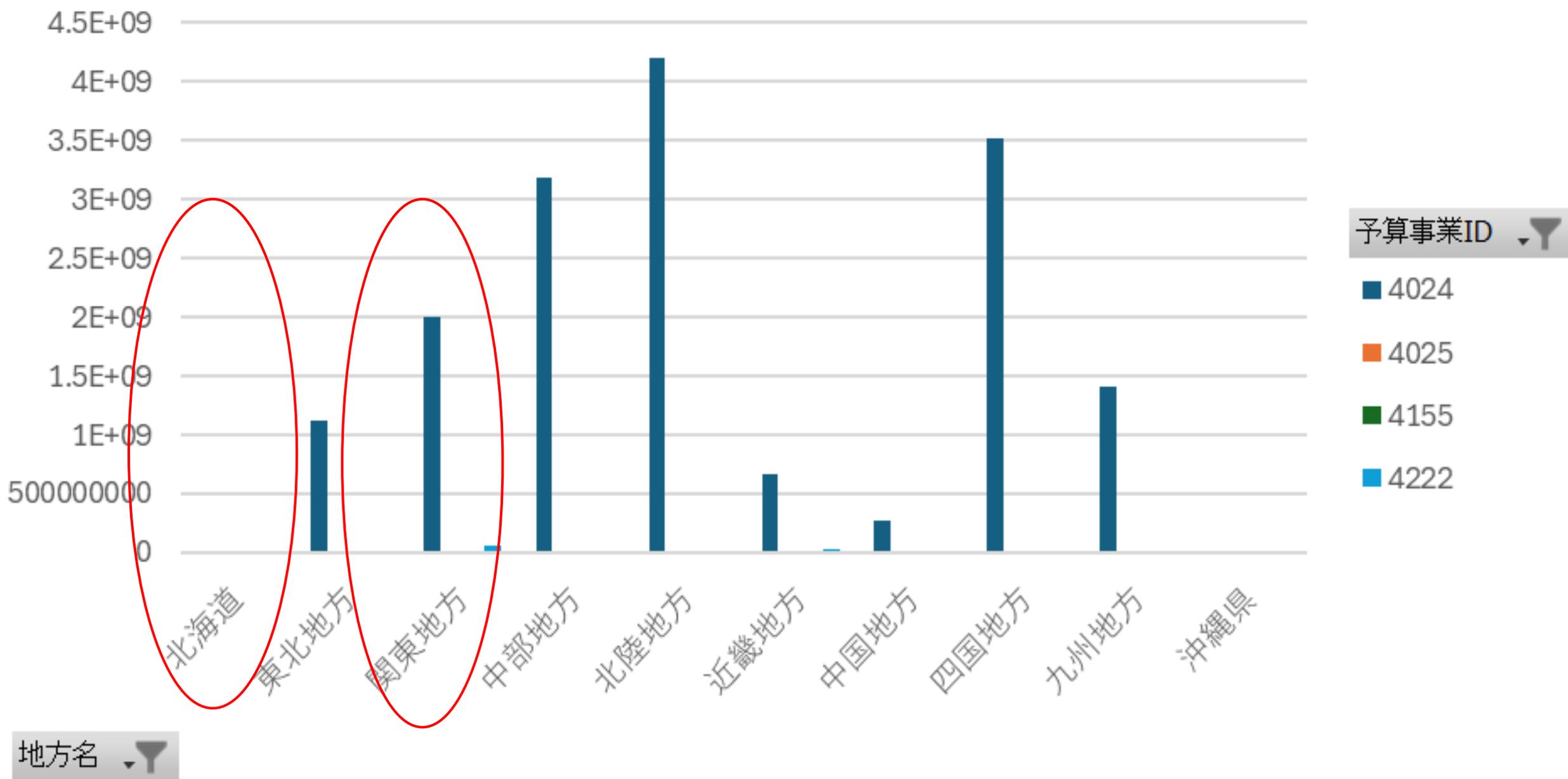
データをマクロに見ると適切な予算配分がされている。

どの災害にどのくらいの予算が支出されているのかをよりミクロな視点で確認する必要がある。

→国土交通省の災害支出が最も高い関東地方を抽出



合計 / 支出先の合計支出額



今後の方針

地方ごとの詳細（ミクロ）と国全体の視点（マクロ）の両方からデータを分析することが重要である。



① 国土交通省以外の省庁のデータも使用することでより正確な全体像を把握する。

② 一年間のデータしか使用できていないため、複数年のデータを分析することで、時間的な予算や支出の変動を加味する。